

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課			内線等	1222
事務事業名	農道新設改良事業				事業コード	4. 維持管理事業	
根拠法令等					Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	農業従事者と住民に対して
手 段	農道の新設及び改良することによって
想定する成果	農業従事者の作業効率及び生産性の向上と、農道の保全と環境の向上を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
	農道改良 L = 278m	農道改良 L = 153m	農道改良 L = 150m
	農道新設 0箇所	農道新設 0箇所	農道新設 0箇所
	小規模道路改良 6箇所	小規模道路改良 8箇所	小規模道路改良 10箇所

成果指標

成果指標名	地区要望実施率
成果指標の説明	施工実施箇所数 / 地区要望箇所数 × 100

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		85.90%				75.00%							
成果指標													
事業費	事業費	10,133				10,367				7,500			
	人件費	3,214				3,218				3,182			
	(人数)	正規	0.40	非常勤		正規	0.40	非常勤		正規	0.40	非常勤	
	合計	13,347				13,585				10,682			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	13,347				13,585				10,682			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	前年度・当年度の要望箇所はほぼ計画どおり施工されたが、一部に地元調整が必要な箇所があった。
経済効率性	2	2	2	2	改良事業が施工された農道は、農業従事者の農作業率向上に寄与し、農業生産に生かされている。又市民の生活道路としても活用されている。
事務効率性	2	2	2	2	事業に対して地域住民(総代等)と連携を取り、投入された職員で効率的に実施している
必要性	2	2	2	2	農業生産地域内の道路で農作業効率向上に効果がある。新設改良事業は市及び土地改良区(受益者)で行う必要がある。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	農業従事者が減少している現在、地域住民及び農家(受益者)が道路及び農地の草刈等の環境整備及び軽微な補修は期待出来なくなりつつある。農道の必要性を考慮し維持管理のために、農家及び地域住民と市等(改良区・農業委員会)が連携を取って事業を進める必要がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
現在の農作業は機械化により従来の道路幅員では支障のある路線が多くある。買収幅幅による道路幅の確保は地元地権者の協力がなければ難しい。現況の道路用地内での幅幅をめざして農道改良事業を計画、実施していく。
上記改善点の実施状況
地元(地区総代)等からの要望に基づき逐次施工している

今後さらに改善すべき点

近年農道は、農業従事者だけでなく一般市民も多く利用している、一路線だけでなく、面的に検討し併せて費用対効果を考慮し実施する必要がある。

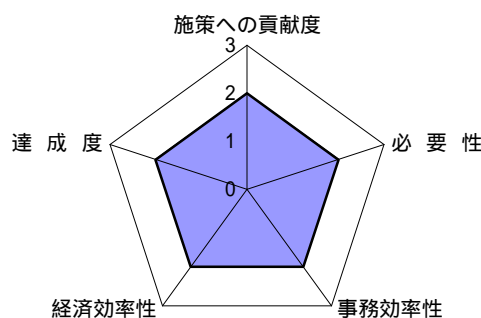
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点